

令和元年度（2019年度）農政部の重点取組事項

北海道農業・農村の現状

- 全国の1/4を占める耕地面積を活かし、土地利用型を中心とした農業を展開
- 1経営体当たり耕地面積は28.9ha、主業農家比率は73%と、大規模で専業的な経営
- 農業産出額は1.3兆円と全国の14%
- 食料自給率は近年200%前後で推移
- 食品加工・観光業など幅広い関連産業と結びつき、地域経済の活性化や雇用の確保に貢献

北海道農業・農村をめぐる動き

- **国際化の進展**
 - TPP11、日EU・EPAの発効や、日米物品貿易協定の交渉開始
- **国における制度等見直し**
 - 新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定検討
 - 農林水産業・地域の活力創造プランに基づいた輸出力の強化など、各種制度の見直し
- **地域における担い手・労働力不足**
 - 農家戸数の減少や農業従事者の高齢化
 - 人口減少や経営の大規模化に伴う労働力不足、特定技能外国人の活用
 - 省力化に資するICTなどを活用したスマート農業の進展

「北海道・新時代の創造」に向けた施策の展開【主な取組】

■ 地域と産業をけん引する人づくり

- 雇用就農の促進に向けた、経営者への意識の転換と求職者の農業への理解と興味を深める取組の実施
- 農外からの就農希望者と受入市町村等とのマッチング機会の創出と農業見学の一体的な実施
- 労働力確保に向けた地域での枠組みを構築し、労働環境改善の取組とともに農福連携など多様な人材の農業参画の促進

■ 食と観光の魅力を最大化する北海道ブランドの充実

- 「第2期北海道食の輸出拡大戦略」に基づく中国への米輸出など国別・品目別の輸出促進対策の展開と産地への支援
- ワイン用ぶどうの生産拡大・品質向上に向けた苗木の確保や栽培技術の向上対策の推進
- チーズ工場の製造技術の継承に向けた担い手確保対策の推進

■ 魅力ある力強い農業の振興

- スマート農業の普及に向けた営農技術体系の検討・検証への支援、ICT等を活用した牧草の生産実証、普及指導員の指導力強化や農業大学の体制強化
- 水田の大区画化、畑地の排水対策など農業農村整備事業の計画的な推進による生産基盤の整備
- 産地パワーアップ計画、畜産クラスター計画に基づく産地の収益力向上に向けた取組支援
- 地域ぐるみで取り組む農村ツーリズムの推進

北海道農業・農村の持続的発展

（国における基本計画の見直し）（道における新たな計画の策定検討）

第5期北海道農業・農村振興推進計画の推進 R 元

R 2

R 3 以降

新たな計画による施策の推進